

# View

● 単位民児協会長のための情報誌

No.229

令和5年9月号

特集

広報の重要性と実効性のあるPR実践のあり方

連載

Information

地域における福祉課題に対する民児協の取り組み

・令和5年 春の勲章・褒章受章者のご紹介

全民児連からのお知らせ

・第50回国際福祉機器展【WEB展】の案内



本誌は、全国民生委員児童委員連合会より、民児協活動の充実に向け、全国の単位民生委員児童委員協議会会長に向けて発行している情報誌です（無償）。3部をお送りしており、1部は会長用として、他の2部は単位民児協副会長にご覧いただく等によりご活用ください。

（市区町村民児協事務局にもお送りしております）

# 広報の重要性と 実効性のあるPR実践のあり方

令和4年12月の一斉改選の結果、欠員数は約1万5000人となり、民生委員・児童委員（以下、民生委員）のなりて確保がいつそう困難となつてきているなか、各民児協において広報・PRを行い、民生委員の存在と活動の正しい理解を促すことが極めて重要です。本特集では、広報・PRの意義や重要性について確認し、各民児協における広報・PR機能の強化や、効率的かつ効果的な広報・PR手法につなげることを目的に、田園調布学園大学の村井祐一教授の解説と各民児協での実践事例を紹介します。

〔解説〕

## 広報の重要性と実効性のあるPR実践のあり方

田園調布学園大学 人間福祉学部 学部長・教授

村井 祐一

### 【PRの定義】

- ①組織体の活動
- ②組織体とパブリックの相互理解・相互利益
- ③良好な関係性の構築・維持

**1. PRの意義と重要性**

日本ではPRより広報という言葉に馴染みがあると思いますが、広報の語源はPR（パブリックリレーションズ）です。パブリックは公共や公衆、リレーションズは関係やつながりを意味します。つまり、PRは広報のような一方通行の情報提供ではなく、情報収集（広聴）と情報提供（広報）をセットにした公共や公衆との双方の関係（つながり）づくりとされます。以上から、現在のPRの定義は「組織体が社会とよりよい関係性を構築し維持すること」とされています。

適切なPRは、対象者やその家族の権利・利益を保障するだけでなく、自組織の理念、目標、機能や役割などが広く地域社会に伝わることであり、地域との信頼関係やつながりづくりに重要な役割を果たします。具体的に、生活上の困りごとが発生した際、最初に相談したい相手として民生委員

が期待され、他の組織や団体からは協働・連携したい相手として認められます。また、地域住民から選出された民生委員は、地域住民の視点にもとづくPRができるという強みもあります。

## 2. 効果的なPRを行つ際のポイント

民生委員は非営利活動を行うため、利益を得ることを目的としていません。では、なぜPRを行うのでしょうか。それは民生委員の職務を適切に遂行するためだと考えます（民生委員法第14条）。

職務を適切に実践するためには、PRの定義にあるように地域住民との相互理解・相互利益をもたらす良好な関係性の構築・維持が不可欠です。

具体的に、民生委員が誰なのか、どのようない法規や立場で活動を行うのか、どのような成果をあげているのか、を適切に伝えなければ、地域社会に理解されず期待もされません。当然、良好な関係づくりにもつながらないでしょう。そのため、民生委員の活動内容や成果を地域社会にわかりやすく広報し、地域から理解・期待され、多くの地域住民から民生委員の職務内容に適した相談が寄せられるようになれば、効果的なPRが行われることになります。

### 3. PRの実効性を高めるために

よく民生委員を知つてもらう必要があると言われていますが、単に知つてもらえたとしても民生委員の活動内容が理解されなければなりません。この状態では適切なPRが行われたとは言えません。PRによって期待される効果は少なくとも5段階に整理され、PR対象とどのような段階の関係形成をめざすのかを明確にすることで実効性を高めることができます。

#### 【PRによる実効性の段階】

- ①相手に知つてもらう（知識が増える）
- ②相手に知つてもらい興味や共感をもつてももらう段階
- ③興味や共感によって相手とのコミュニケーションが生じる段階
- ④民生委員に相談し、支援を受け入れたり協力する段階
- ⑤民生委員と密接に連携・協働する、または民生委員になる段階

実際に行う広報またはPRは、誰とどの段階をめざしたものか再確認してみてください。また、ホームページ、ブログ、広報誌やSNSなどの各メディアを通じて伝えている記事は、誰を対象とし、その対象とどのような関係形成をめざしているかを確認する必要があります。つまり、PR対象

と、対象に対する実効性を明確に設定したうえで、記事を作成する必要があります。

そして、最も大切な視点は「メリット（利点）」を伝えるのではなく、より深い「ベネフィット（恩恵）」を伝えるように心がけることです。民生委員および民児協の活動を伝える以上に、その活動によつて実現した対象者の生活や気持ちの変化、安心できる生活の実現を伝えていくことが効果的です。例えばサロン活動を行う場合、日時、場所や参加条件などの情報提供だけでなく、参加することによって得られるつながり、孤独からの解放、人と話すことの楽しさや自己実現、さらには参加者の声などを届けることがベネフィットの伝達となります。

また、情報は文字よりも絵・図・写真、絵・図・写真よりも動画、動画よりも直接参加・体験してもらうことで伝達できる情報量が増える特性がありますので、なるべく情報量の多い形での実施を心がけることもPRの実効性を高めます。

4. 民生委員による広報力強化に向けて

という記事のほうが、多くの人と民生委員が関わる機会の可能性を高めます。つまり、過去のイベントを広報するよりも、未來のイベントの広報を行いつつ、前回の様子なども伝えることで、より多くのPR対象の興味や関心を引き出します。

また、口コミは対象に最適な形で情報提供が行われるという強みがあります。その理由は、口コミを行う場合、情報提供者が提供する対象の人柄、状況、興味や関心等をある程度、理解していると想定されます。この状況で、情報提供者は、相手が最も関心をもち、理解できるような形に情報を加工して伝えようとするため、伝達性が高まります。また、情報提供後の相手の反応を見て、さらなる調整（伝達）が行われます。

以上から、民生委員ならびに民児協から発信される情報は、できる限り口コミでも伝達されるような工夫が必要です。例えば、情報伝達時や記事の最後に「あなたの身の回りに、この情報が必要としている人がいたらぜひ伝えてください」と追加するだけで効果は高まります。

これまで単に「知つてもらう」という広報から「理解してもらう」そして「良好な関係づくりにつなげる」というPRの視点に切り替えた広報活動を行つてみてはいかがでしょうか。

## 令和5年度活動強化週間広報の取り組み

長野県民生委員児童委員協議会連合会会长 伊藤 篤志



### 1. はじめに

長野県内には長野市、松本市の中核市2市を含め、77市町村があり、約5200名の民生委員・児童委員（以下、民生委員）が295の単位民児協で日々活動を行っています。令和2年度から引き続いたコロナ禍の中では、感染拡大防止の観点から活動強化週間の広報活動は控えがちになり、十分な広報活動は展開できませんでした。令和5（2023）年5月からの感染症法上の位置付けと感染対策の変更に伴い、今年度は広報活動の強化を目標に取り組みました。

### 2. 広報活動強化の背景

令和4（2022）年12月の一斉改選では、定数5273名に対して委嘱者数5196名で充足率は98.5%（前年比0.3%増）となり、一定程度の委員確保ができました。しかし、内訳をみると新任委員の割合は57.9%と全国一高くなりました。新任委

員の割合は令和元（2019）年の改選時も57.2%と高く、その傾向が継続しています。単位民児協によつては、新任委員の増加で委員の大半が入れ替わり、委員の育成や活動の継承などに支障が懸念されます。フォローが求められる状況です。こうした新任委員の増加、言い換れば、委員の再任がすすまない背景と要因は民児協ごとにさまざまなものがありますが、最も重要な

ポイントは、委員を推薦する自治会役員の、さらには地域住民に民生委員制度の存在と委員活動の正しい理解が浸透していないのではないかと懸念されることです。

そこで、幅広い世代の地域住民の方がたに向けた活動理解促進のために、どのような広報活動を実施するかを検討していたところ、全民児連から民生委員のPR動画駅広告掲示募集のお知らせがあり、長野県民児連では、急遽、新年度の広報予算の増額を諮りました。結果、全民児連が掲示する

### 3. 長野県知事との懇談の開催

民生委員制度を所管する長野県の地域福祉課とは、かねてより一斉改選による長野県民児連新役員の表敬も兼ねた「知事との懇談」の開催を相談しており、本年4月末に開催することができました。

懇談では、一斉改選を踏まえた委員の担い手確保の課題、民生委員活動のPR広報に対する県からの支援と協力、ポストコロナの地域の福祉課題などについて意見



駅、上諏訪駅への掲示を決定しました。また、より多くの方に駅広告をみてもらえるよう、マスコミにプレスリリースを投げ込むとともに、長野県にも協力を依頼し、長野県庁玄関ホールでもPR動画放映を行いました。

交換を行いました。特に、民生委員制度に対する県民の正しい理解の浸透については、問題意識を共有することができました。民生委員の活動理解促進や、担い手確保の広報活動は短期的な解決は難しいことから、今後も長野県と連携を行なながら、継続的な広報活動を行っていく予定です。

#### 4. 知事定例記者会見での「活動強化週間」PR



#### 5. 今後に向けて

長野県地域福祉課の配慮もあって、「民生委員・児童委員の日」の5月12日に行われた知事定例記者会見で、阿部守一長野県知事より活動強化週間とPR動画（70秒）の紹介、民生委員制度の説明、県民への相談利用などの呼びかけが行われました。

現在、この会見の様子は、長野県民児連ホームページ「民児協」（民児連ホームページ）で視聴できるよう準備をすすめています。紙面だけでは届けられない活動や委員の声を紹介し、民児協の相互交流の一助となるとともに、広く一般の方にもご覧い

ます。県内の市町村民児連からは、総会時にこの動画を視聴する機会を設けて、委員のモチベーション向上に役立てたとの報告もありました。

【阿部守一長野県知事の定例記者会見】

長野県社会福祉協議会ホームページ

#### ▼長野県民生委員児童委員協議会連合会▼民児協の活動状況



#### 6. 長野県行政からのコメント

長野県では、民生委員の存在と活動をより多くの方に知つてもらうために、活動強化週間に合わせて、県内各地であります。また現在、長野県民児連の広報媒体、いわゆるオウンドメディアは、広報紙『つなぐ』（季刊・年4回発行）とホームページがあります。

広報紙では、毎回2つの単位民児協の活動状況を取材、紹介していますが、今年度秋号からは、民児協活動のPRをスマートフォンで撮影し、紹介動画としてホームページで視聴できるよう準備をすすめています。紙面だけでは届けられない活動や委員の声を紹介し、民児協の相互交流の一助となります。

引き続き、PRポスターの展示や高齢者団体へのPRチラシの配布を行うなど、長野県民児連と連携しながら民生委員の認知度の向上のための広報に努めてまいります。

ただけるよう取り組み、民生委員活動の正しい理解が浸透することを目標としています。また、広報紙には動画にアクセスできる二次元コードを掲載し、委員のスマートフォンやタブレット端末などのIT機器の利活用がすすむことも願っています。

事例紹介  
②

## 思いを込めて

京都府 向日市南地区民生児童委員協議会 副会長 高畠 幸子

る方向で部会編成を見直しています。

### 4. おわりに

一昨年度から「通信いどばた」と題し75歳以上のひとり暮らしの方を対象にした季刊誌を作成・配布しています。内容は、健康や旬の食材を使ったレシピなどをはじめ、市内公立小中学校の生徒の絵画などの作品も掲載しています。協力いただいた生徒には、完成した本季刊誌にお礼の手紙をつけて渡すように心がけています。これにより、民生委員のことを知つてもらうとともに、感謝の気持ちを伝えることで将来、民生委員の芽が出ることを密かに願つての小さな種まきなのです。

**1. はじめに**

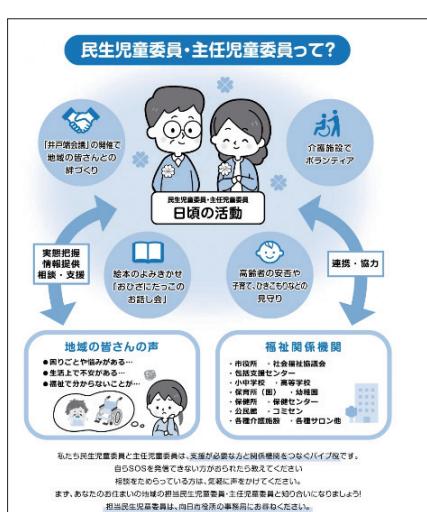
向日市は京都府南部乙訓地域に位置し、人口5万6143人（令和5年5月1日現在）、世帯数は2万3730世帯です。市の民生委員・児童委員（以下、民生委員）の現員数は86人（うち主任児童委員6人）で充足率は96・6%です。

**2. これまでの広報活動**

向日市民生児童委員連絡協議会（以下、本民児協）では、民生委員の存在を市民に知つてもらうことを目的に、毎年5月の「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」に合わせて、市広報誌（市内全戸配布）と市ホームページに取り組み内容の記事を掲載するとともに、市役所庁舎内のデジタルサイネージを使って活動をアピールしています。また、具体的な民生委員の役割として、「身近な相談相手」「関係機関へのつなぎ役」であることを、これまで以上に知つてもらうため、本民児協にて独自ポスター

### 3. 効果的な広報・PR活動に向けて

本民児協は、今年度から市民向けに「福祉講座」を始めました。福祉課題と一緒に学ぶことで民生委員の活動を知つてもらう機会になると考えています。また、単位民生児協では「井戸端会議」という地域住民向けの集まりを実施しています。このような機会などを通し、効果的にPRが可能なプログラムを企画するため、広報・PRを検討する専門部会を、本民児協内に新設置す



独自ポスターのイメージ

## 学校との連携等に向けた広報実践

川崎市 川崎区民生委員児童委員協議会 会長 星川 美代子

### 1. はじめに

川崎区は、川崎市7区のうち最も東側に位置し、人口は約23万人（約12万世帯）です。川崎区民生委員児童委員協議会（以下、本民児協）は、10地区の民児協で構成され、民生委員・児童委員（以下、民生委員）の現員数は265人（うち主任児童委員18人）で、充足率は92%です。

### 2. 取り組みの経緯と内容

本民児協は、毎年、学校や地域の関係者等と協力し、地域課題の解決に取り組むため「小中学校教諭との交流会」を開催しています。その際に参加された先生がたから、民生委員の役割、活動内容や活動範囲等について、質問が多数寄せられました。また、コロナ禍により本交流会の開催中止・縮小、

学校への訪問や行事等への参加が難しい状況が続いたことなどから、学校の連携体制の希薄化が課題となりました。これを受け、本民児協では「民生委員の日 活動強化週間」

にあわせ、小中学校の教職員の方がた向けの独自チラシの作成・配布を実施しました。

民生委員や主任児童委員の役割や活動をわかりやすく整理するとともに、学校との連携事例や、相談対応の流れ、民生委員等に關するQ&Aを掲載しています。本チラシの配付にあたっては、各学校の職員会議や顔合わせの場等にて、チラシを活用しながら説明を行いました。日ごろから関わりのある先生だけでなく、すべての教職員に

民生委員を知つてもらう機会となっていました。さらには、PTAの役員にもチラシを配布することで、保護者に対しても民生委員や主任児童委員の存在と役割をPRとともに、次世代の担い手の発掘にもつながることを願っています。

### 3. 具体的な連携の取り組みに向けて

コロナ禍により活動が滞っていた中学校区単位での連絡協議会が再開され始めました。私たちも学校への訪問など、民生委員

が学校との関わりを深めていくよう、積極的な働きかけを行っています。

昨今、子どもや子育て家庭の状況はますます複雑・多様化しています。しかし、個人情報の保護や、多忙を極める学校の先生の状況も相まって、課題のある子どもたちの情報把握および共有が難しい状況です。

この課題を解消し、学校と連携した子どもたちの支援・見守りにつながるよう、常に「私たち民生委員には何ができるか」と自問自答を繰り返しながら、今回のような取り組みをはじめ、学校を含めた地域の各関係者とのさらなる連携の歩みをすすめたいです。



学校との顔合わせの場において、連携等に向けた説明を行なう民生委員、主任児童委員

## 特集関連トピックス

民生委員の存在と役割の理解促進、活動環境の整備・向上やなりて確保に取り組む事例として、とくに企業等への理解促進に努めた事例として富山県高岡市の取り組みを紹介します。

### 民生委員・児童委員が働きながら活動できるように 企業の理解促進と協力獲得に向けて

富山県 高岡市民生委員児童委員協議会 会長 松原 亨

#### 1. はじめに

富山県の北西部に位置する高岡市は、人口16万4,834人、世帯数7万106世帯です（令和5年5月末時点）。市内24地区で民生委員児童委員協議会を組織し、市の

民生委員・児童委員（以下、民生委員）の現員数は383人（うち主任児童委員41人）で充足率は100%です。

#### 2. 取り組みのきっかけ

高岡市民生委員児童委員協議会（以下、本民児協）では、従前から、民生委員の定員を確保できていますが、平均年齢は微増の傾向があり、なりての確保が困難な状況にありました。そこで、若い世代が民生委員の経済団体（高岡商工会議所および高岡市

員となり、次代の中心的役割を担つてもらえるよう、実際に働きながらでも委員活動が可能な環境整備を行う必要がありました。

この結果、「委員活動への理解をしてもらいたいやすくなつた」「日中の会議に出やすくなつた」との声があり、就業先からも「民生委員の重要性を認識できた」と、理解促進および活動環境整備に一定の効果があつたとみています。また、この県内初の取り組みは、富山県民児協をとおして、県内外に広がりを見せてています。

#### 3. 取り組みの経過と効果

このような背景のもと、まずは令和3（2021）年に本民児協から市に対し、就業と民生委員活動の両立支援について意見具申を行いました。次に、令和4（2022）年の一斉改選にあたり、市と連携して、民生委員の就業先事業所（企業等）に対する

本民児協では、今後もこの取り組みを継続していくとともに、働きながら民生委員活動を行う方がたにとつて、より活動やすい環境の充実に努めていきたいと思います。そのために、就業先事業所に対し、率先して民生委員活動を支援してもらえるような協力体制の構築について、検討していくと考

商工会）に対し、民生委員活動の理解と、会員企業への周知協力をお願いしました。実際、令和4年12月1日付委嘱者のうち、就業者は205名（53・5%）であり、そのうち希望のあつた20人の就業先に對し協力依頼文書を発行しました。

#### 4. 今後の展望等

本民児協では、今後もこの取り組みを継続していくとともに、働きながら民生委員活動を行う方がたにとつて、より活動しやすい環境の充実に努めていきたいと思います。そのため、就業先事業所に対し、率先して民生委員活動を支援してもらえるような協力体制の構築について、検討してい

## 全民児連PRグッズの お知らせ

### 民生委員自らが「広告塔」に！

#### ■バッジ着用で民生委員のPRを！

全民児連では、民生委員マークと赤い羽根、SDGsとコラボしたバッジを作成しております。全国の委員の皆さま全員を対象に有償頒布しています。※着用は現任職の民生委員に限る※



いたします。

ぜひ、皆さまお揃いでご着用ください。

各民児協事務局、会長の皆さまには、民児協内で購入希望を取りまとめていただき、お誘いあわせのうえ、注文用紙にてご注文をお願いいたします。

※送料無料の手続きは不要です。

注文用紙はこちら↓



#### ■第92回全国民生委員児童委員大会にて全民児連PRグッズの有償頒布を実施！

##### 標記大会の1日目

(21日) 式典会場のグリーンアリーナにて全民児連PRグッズを有償頒布いたします。



販売グッズ例

#### ■PRチラシの金額見直しのお知らせ

昨今の価格高騰の影響により、PRグッズの一部価格の見直しを次のとおり実施いたします。定例会等において、各委員の皆さんへの周知徹底をご協力をお願いします。

##### 【値上げ対象】 PRチラシ

##### 【金額】

（変更前）	100部	200円
（変更後）	100部	300円

##### 【時期】

令和5年11月1日受注分から

##### 【留意点】

価格変更に伴い、PRグッズの注文用紙を変更します。変更版は全民児連ホームページに10月下旬までに掲載いたします。

#### ■新PRグッズの予告

令和5年11月中旬に、関係機関・団体、地域住民に向けた外部向けPRグッズを有償頒布します。令和6年の活動強化週間の際等に民児協オリジナルグッズとともに、配布いただく等、民生委員活動の応援団を増やしていきましょう。

間に21個以上ご購入の方は、送料を無料とください。

# 地域における福祉課題に対する民児協の取り組み

## 災害に強い地域づくりと民児協の役割と活動

本連載における今回のテーマは「災害」。近年、各地で災害が頻発しており、平時から発災時における対応は、地域における福祉課題として取り組むことが必要です。平時から災害対応に工夫して取り組む民児協の事例をお届けします。

### 連載事例

①

## 災害時における避難所運営で民生委員・児童委員 の役割、避難所運営ゲーム（HUG）を通じた取 り組み～

福岡県 太宰府市民生委員児童委員連合協議会 太宰府校区 会長 米森 優子

### 1. はじめに

太宰府市は、人口7万1298人、世帯数は3万2716世帯です（令和5年4月1日現在）。太宰府市民生委員児童委員連合協議会（以下、本民児協）は、太宰府市を4つの中学校区に分けて活動しており、最も人口および世帯数が多い太宰府校区は、太宰府天満宮を中心広がる地域です。太宰府校区の民生委員・児童委員（以下、民生委員）の現員数は30人（うち主任児童委員2人）で充足率は100%です。

### 2. 取り組みの経緯

本民児協の課題の一つとして、災害に民生委員としてどのように備えるかが課題でした。これまで、東日本大震災や熊本地震、九州北部大雨災害など未曾有の大規模災害が頻発しており、いつどこで災害が起きてても不思議でない状況にあります。また、これらの災害において、民生委員が数多く亡くなられ、そのなかには救助活動に向かって命を落とされた民生委員もおられました。

その後、全国民生委員児童委員連合会では、「災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針」を作成し、災害が起きた時は、

### 3. 避難所運営ゲーム（HUG）との出会い

とくに、民生委員の強みとして、地域をよく知り、地域住民等の情報を把握していることから、その強みを避難所の運営に役立てるための方法を検討するなかで、避難所の運営を学ぶ方法の一つとして、「避難所運営ゲーム（HUG）」（以下、HUG）を知りました。HUGとは、H（避難所）U（運営）G（ゲーム）の頭文字を取つたもので、英語のハグ「抱きしめる」、すなわち避難者を優しく受け入れる避難所をイメージして名づけられています。

とくに避難者には、障がいのある方、妊娠をされている女性、外国人など、さまざまな背景や事情がある方がいます。そのような方がたに配慮した受け入れは重要であり、その配慮をするうえで、民生委員がもつ情報は有力であると考えます。

HUGでは、さまざまな事情等に配慮した部屋割り、仮設トイレの配置、炊き出し場などの生活空間の確保や、救援物資の対応、さらには、取材対応など、避難所運営におけるさまざまな課題を即座に状況判断し、対応が求められる運営について、ゲーム感覚で模擬体験していきます。

実際、避難所では行政や福祉・保健関係者などの支援者がいますので、これら避難所運営で求められる配慮や対応などを民生委員がすべて担うということではありません。ただし、HUGをとおし、避難所運営の課題を想定することで、無理のない範囲で民生委員の役割を發揮することにつながるのではないかと考えます。

このことから、太宰府校区では、災害に備えるため、太宰府市防災安全課から専門官を講師に迎え、研修としてHUGを体験しました。

#### 4. 避難所運営における学び

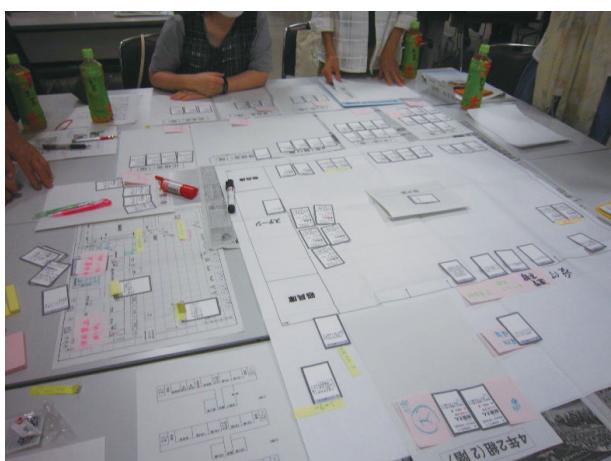
HUGのルール等の細かな内容は割愛しますが、概要としては、太宰府校区を4つのグループ（各7～8人程度）に分け、各グループのひとりがさまざまな課題の書かれたカードを読みあげ、それに対してものメンバーが意見を出し合います。

さまざまな課題を即座に状況判断することが求められるため、カードの読みあげはかなり早いペースですが、実際の避難所は多くの避難者と支援者が入り乱れ、想定外のケースに追われるなどが考えられますので、そのなかで民生委員としてできる状況判断をしていく必要があると学びました。また、民児協として、各関係機関とも事前に避難所運営での民生委員に求められる活動や役割等について確認・共有していくことが重要です。

実際にHUGを体験した民生委員からは、研修後の感想では、「さまざまな事情を抱える避難者への適切な配慮や受け入れについて気づきがあった」「もし自分が避難者の立場になつた際でも、支援者の方に自身や家族の事情、必要に応じて地域の方の情報等を的確に説明できるよう、平時から準備しておくことが大切である」との感想が多くあがりました。

この研修の報告を受け、令和5（2023）年6月には、太宰府市内の別地区と社会福祉協議会（主に福祉委員が参加）による合同研修会も開催されています。

各地域において、HUGを用いた研修を行うことが増えているため、今後も太宰府市民児協として、平時からの災害への備えに対する意識強化を図っていきます。



HUGを用いた研修の様子2



HUGを用いた研修の様子1

# 地域の福祉力・防災力向上と小委員会活動の取り組み

岡山市 操明地区民生委員児童委員協議会 会長 堀本 光久

## く安全安心で住みやすい地域づくりに向けて

### 1. はじめに

操明学区は岡山市南部に位置し、人口9083人（うち65才以上の高齢者は1895人、高齢化率20・9%）、世帯数は4080世帯です（令和5年6月現在）。民生委員・児童委員（以下、民生委員）の現員数は13人（うち主任児童委員2名）で、委員の充足率は100%です。

地域の特徴として、東は百間川、西是一級河川旭川、南は瀬戸内海に続く児島湾と、三方を水で囲まれた海拔0メートルの干拓地です。百間川、旭川ともに天井川であり、ハザードマップによると、水害発生時には最大約2メートル超の浸水深が起こり、その状態は1週間以上継続すると予想されています。過去には、昭和南海地震（1946年12月）が発生し、甚大な被害をもたらしています。このような歴史的、地勢的な諸条件から洪水、地震、津波などの災害に対する住民の

防災意識は高いものがあります。

### 2. 小委員会活動発足の経緯

操明学区では、岡山市社会福祉協議会が提案した「小地域福祉活動」を始めるにあたり、操明学区民児協（以下、本民児協）、地区協、自主防災会の三者の各会長と地域福祉活動の有識者が集まり、数度の検討会を経て、平成28（2016）年に「操明福祉委員会」（以下、本委員会）を立ち上げました。その目的は個人情報保護法を遵守しつつ、三者それぞれがもつているさまざまな情報を共有し、協働することで互いの活動の効率化と実効性を向上させることにあります。

具体的な活動としては、住民ニーズのアンケート調査を行った結果、まずは「防災対策」に取り組むことになりました。

独自に学区内住宅地図を作成し、それには、ひとり暮らしの高齢者などを含む災害時要援護者の情報や、避難経路、避難場所などを明示しました。ただし、個人情報の保護を徹底すべく、災害時要援護者の個人情報が関係者以外（外部）に漏れないような工夫も行っています。

### 3. 防災対策の具体的な取り組み

本委員会において、地域に根づく三者がも

ちあわせる情報や強みなどを活かし、行政等ではまかないきれないような具体的な防災対策への取り組みとして、主に以下4つを実施しました。

#### ① 災害時個別支援計画の作成

主に75歳以上高齢者の災害時における支援として、民生委員が「災害時個別支援申込書」をもつて75歳以上の高齢者宅を個別訪問し、使用目的や使用範囲等の説明を行いました。申込書には氏名、住所、連絡先、緊急連絡先などを記入したうえで、民生委員の説明に同意した旨の署名・捺印をしてもらうことを徹底しました。この申込書にもとづき、支援者の選定など具体的な計画立案については学区内26の町内会の協力を得て、自主防災会が行っています。

#### ② オリジナル福祉マップの活用

独自に学区内住宅地図を作成し、それには、ひとり暮らしの高齢者などを含む災害時要援護者の情報や、避難経路、避難場所などを明示しました。ただし、個人情報の保護を徹底すべく、災害時要援護者の個人情報が関係者以外（外部）に漏れないような工夫も行っています。

### ③ 継続的な情報の共有・更新の実施

本委員会では、年2回、合同情報交換会を開催し、地域の課題や新たな情報などの共有を行っています。コロナ禍においては、地区別に規模を縮小せざるを得なくなりましたが、その分回数を増やすなど工夫しながら開催し、地域の情報を定期的に共有し合う機会を設けています。

### ④ 災害に備える「自助」の重要性を訴える

#### 活動

学区内には、小学校を含めて2カ所の避難所があります。しかし、世帯人口に比べて収容可能人数が少なく、食料品や飲料水などの備蓄品も微々たるものです。そのうえ、トイレの多くは和式であり、女性や高齢者、障がいのある方にとつては非常に厳しい環境となっています。

また、災害はいつ、どのように発生するかがわからないことから、例えば、夜間や洪水・津波等で道路と用水路の境目がわからなくなるケースもあります。そのようなときの避難は非常に危険です。

このようなことをふまえ、本委員会では防災・減災の基本は、自宅での垂直避難を想定した「自助」であると考えています。そのため

め、自助に必要な衣料や医薬品を含む備蓄品をリストアップした「ひなんのしおり」や、ハザードマップなどを入れたクリアケースを、令和4年秋に町内会に加盟する2800世帯に自主防災会を通じて全戸配布しました。なお、配布しただけではすぐに散逸する懸念があるため、本委員会の三者それぞれが、さまざまな機会で各家庭を訪問し、活用状況の確認や、自助の大切さについて喚起することにしていました。



## 4. これから の課題

操明学区では新しい団地やマンションが増えている影響により、高齢化率は20・9%とはいえ、現役世代と高齢者世代との二極化が進展しています。それにより、学区内の住民同士の交流の場の減少や、つながりの希薄化が課題です。

災害対策には地域住民の日常のつながり

や、コミュニケーションが欠かせません。そのため、本委員会の三者では、それぞれの取り組みをとおして住民同士のつながりの構築を行っています。例えば、本民児協では日頃の訪問活動を通じて高齢者や子どもの見守り、地域包括支援センター、岡山市社協、地域の公民館などと連携して生活支援活動を行っています。地区社協においても、いきいきサロンへの支援や敬老会の開催、年4回のひとり暮らし高齢者宅へのお弁当配布などを通して高齢者とのコミュニケーションを深めています。自主防災会においては、各町内会の会長が各自主防災会の会長を兼務していることが多く、町内会との連携を密なものとしています。

それ以外の新たな取り組みとして、本民児協と地区社協では昨年12月から、地域のボランティアと協力して毎月1回（日曜日）開催のこども食堂「操明みんなの食堂」を立ち上げました。この食堂をとおして、子どもや子育て中の若い世代と、高齢者世代のボランティアとの世代間交流も大きな目的としています。

本民児協では今後も地域の福祉力・防災力の向上に向けて、関係する各種団体や行政組織などと連携した活動をすすめていきます。

# 令和5年

## 春の勲章・褒章受章者のご紹介

### 春の勲章・褒章受章者（99名）

（令和5年4月29日付発令）

#### 【功労概要（主たる功労の区分）..社会福祉功労】 勲章受章者

15名

#### 瑞宝双光章（1名）

●西 村 由美子さん（兵庫県）

#### 瑞宝单光章（14名）

●三 浦 喜美子さん（秋田県）

●須 賀 笹 子さん（茨城県）

●岡 田 京 子さん（群馬県）

●磯 部 恒 子さん（埼玉県）

●佐 野 美智子さん（神奈川県）

●高 野 善 一さん（石川県）

●白 井 留美子さん（愛知県）

●内 海 照 隆さん（和歌山県）

●竹 中 律さん（和歌山県）

●三 橋 明 子さん（和歌山県）

●西 崎 京 子さん（岡山県）

●鈴 岡 康 恵さん（広島県）

●長瀬 由 子さん（名古屋市）

●岡 部 敏 治さん（福岡市）

#### 褒章受章者

17名

#### 藍綬褒章（17名）

●橋 本 重 彦さん（茨城県）

●田 中 久仁雄さん（群馬県）

●大 場 玲 子さん（埼玉県）

●畠 中 ツヤ子さん（千葉県）

●塩 川 光 子さん（東京都）

●木 村 はな子さん（神奈川県）

●廣 田 憲 彦さん（富山県）

●柘 植 幹 子さん（岐阜県）

●吳 屋 之 保さん（滋賀県）

●今 西 英 人さん（大阪府）

●柳 瀬 進 作さん（兵庫県）

●高 橋 正 憲さん（広島県）

●大 野 敏 博さん（鹿児島県）

●上 田 園 子さん（山口県）

●上 瀧 正 臣さん（福岡県）

●河 野 暢 子さん（大分県）

令和5年春の勲章・褒章において、現任の民生委員・児童委員（発令日当時）から、次の方がたが受章されました。おめでとうございます。

本誌への掲載をご承諾された方のみご紹介しています。

# 【功劳概要（主たる功労の区分）・社会福祉功労以外の功労】

## 勲章受章者

旭日双光章（1名）	戸田岸 嶽さん（山口県）
旭日单光章（1名）	小泉 眞さん（千葉県）
瑞宝小綬章（7名）	吉岡 英一さん（宮城県）
	高部 賢成さん（高知県）
	枝松 幸四郎さん（千葉県）
	林 和夫さん（愛知県）
	堀 高典さん（和歌山県）
	森 田勝さん（高知県）
	松 木道夫さん（熊本県）
瑞宝单光章（24名）	川島 芳治さん（北海道）
	藤重 美さん（秋田県）
	江幡 文代さん（埼玉県）
	佐藤 友之さん（福井県）
	大塩 美由紀さん（兵庫県）
	大前 博史さん（高知県）
	坂下 良二さん（熊本県）
	土井 ヒロ子さん（北海道）
	藤原 康男さん（埼玉県）
	村井 薫さん（岐阜県）
	坂本 雅雄さん（岡山県）
	来島 美光さん（大分県）
	山田 啓一さん（北海道）
	田中 章さん（山口県）
	岡原 和さん（長崎県）
	坂田 信子さん（北九州市）
	金井田 平和さん（長崎県）
	渡邊 信光さん（北海道）
	内田 智美さん（福井県）
	奥村 浩さん（兵庫県）
	中川 良和さん（香川県）
	松本 安廣さん（神戸市）
瑞宝双光章（24名）	谷合 守さん（岡山市）
	安岡 俊博さん（北海道）
	大根 博さん（千葉県）
	野村 幸一さん（滋賀県）
	鳥飼尾 博さん（島根県）
	大野 駿雄さん（長崎県）
	岡原 章さん（山口県）
	田中 守さん（山口県）
	田山 時徳さん（熊本県）
	ほか2名
瑞宝单光章（24名）	塚本 幸司さん（群馬県）
	服部 良夫さん（愛知県）
	寺村 重一さん（滋賀県）
	今井 秀一さん（京都府）
	吉川 光彦さん（愛知県）
	大滝 廣さん（埼玉県）
	岡 部 健さん（香川県）
	ほか1名

## 褒章受章者

藍綬褒章（9名）

高橋 房子さん（北海道）
上野 尚子さん（三重県）
山岡 愛子さん（北九州市）
宮本 成子さん（福井県）
安光 真裕美さん（山口県）
早坂 今朝吉さん（北海道）
松隈哲也さん（佐賀県）
金崎 幸子さん（千葉県）
藤崎 一枝さん（堺市）

10名

# 全民児連からのお知らせ

—クリエイティブな未来を拓く



## H.C.R. 2023 & Forum

50th International Home Care and Rehabilitation Exhibition

### 第50回 国際福祉機器展&フォーラム

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

**Webを通して最新機器の情報を入手！**

**H.C.R. Web2023**

**11か国2地域より**

**380社の出展社と1,000点以上の製品情報を掲載！**



2023年

**10月30日まで**  
特設サイトにて開催中

**シニア層を中心に、いつまでも健康でいきいきと過ごすためのヒントが得られる情報が満載！**

### 高齢者ヘルスケアカレッジ

セミナー アーカイブ映像を無料公開中！



認知症バリアフリー社会  
～ともに創る暮らしへ地域～

永田 久美子 氏  
(認知症介護研究・研修東京  
センター 研究部長)



おうちで簡単  
フレイル予防

山田 実 氏  
(筑波大学人間系 教授)



楽しく気軽に  
シニアごはん♪

枝元 なほみ 氏  
(料理研究家／一般社団法人  
「チームむかご」代表)



高齢者のための  
デジタル活用術

伊勢 宏子 氏  
(公益社団法人 日本消費生活ア  
ドバイザー・コンサルタント・相  
談員協会 東北支部 研修委員長)



今日から始める！  
健康体操

石田 竜生 氏  
(株式会社おふとん  
代表取締役)



解説！  
今さら聞けない  
介護保険のい・ろ・は

高野 龍昭 氏  
(東洋大学 福祉社会デザイン  
学部 教授)

### 高齢者自身による健康まちづくり～老人クラブの事例～

池田 隆明 氏  
(鎌倉市老人クラブ連合会「みらい  
ふる鎌倉」 副会長)

水野 彰 氏  
(鳥取県老人クラブ連合会  
副会長)

Web展への  
ご登録はこちちら！  
(登録・閲覧無料)



**H.C.R.事務局** (一財)保健福祉広報協会 Tel: 03-3580-3052 受付時間／9:30～17:30(土日、祝日を除く)  
Mail: info@hcrjapan.org <https://hcr.or.jp>

HCR

### ホームページのご案内

全国民生委員児童委員連合会のホームページ

全民児連 で検索

全国民生委員互助共励事業のホームページ

互助共励 で検索

### 単位民児協会長のための情報誌 View No.229

- ▶ 発行所：全国民生委員児童委員連合会  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2  
全国社会福祉協議会民生部内  
TEL. 03-3581-6747
- ▶ 編集人：平井 庸元
- ▶ 発行日：令和5年9月20日

・本誌のタイトル「View (ビュー)」には、民生委員・児童委員活動の「視野」「視点」「展望」といった意味が込められています。  
・民生委員・児童委員活動のための、営利を目的としない本誌のコピー等は自由です。定例会での研修等に積極的にご活用ください。